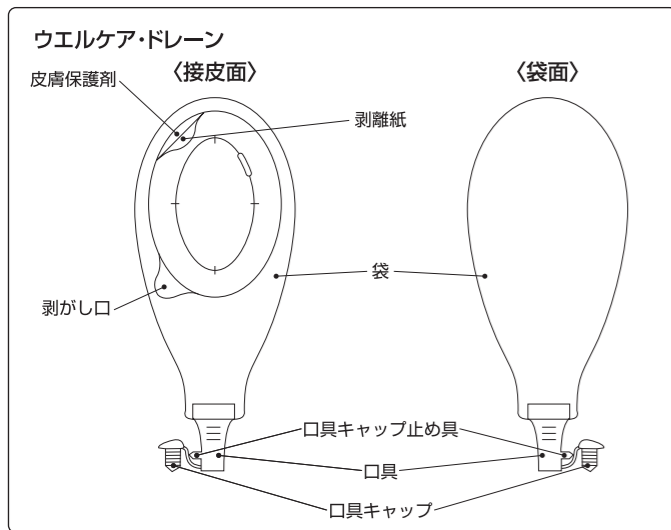
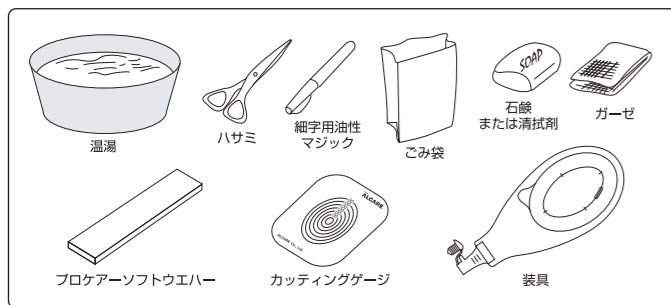


各部の名称と構造



使用手順 イラストはMサイズです

1 必要物品の準備

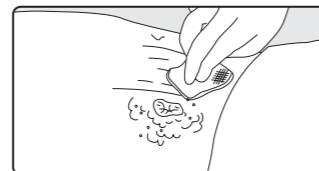


使用手順 イラストはMサイズです

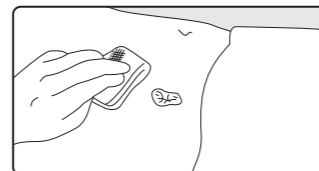
2 瘻孔周囲のスキンケア



① 石鹸または清拭剤を染み込ませたガーゼで、患部周囲の皮膚を十分に清拭します。



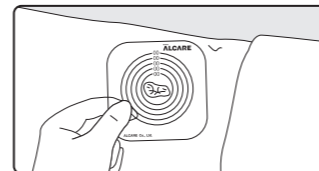
② 温湯に浸したガーゼで、石鹸または清拭剤を完全に取り除きます。



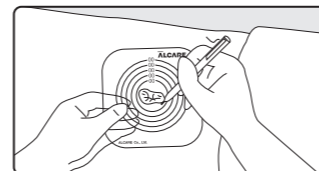
③ 乾いたガーゼで、完全に水分を拭き取ります。

注意：石鹸および水分の取り除きが不十分な場合、粘着力が低下し、排液漏れの原因となります。

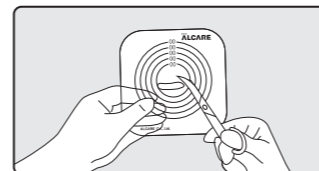
3 サイズの計測および型紙の作成



① 患部にカuttingゲージを乗せます。

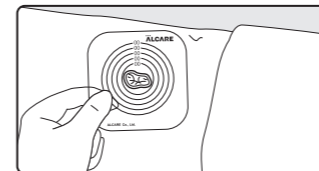


② 患部の形に合わせて、油性マジックで形を写し取ります。

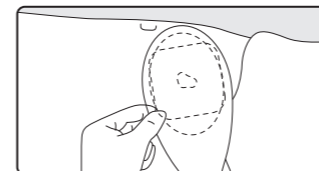


③ 形に沿って、ハサミでカットします。上下を明記し、作成日を記入します。

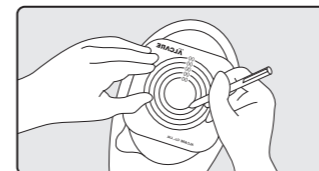
4 接皮部の穴開け



① 穴を開けたカuttingゲージを患部に乗せます。

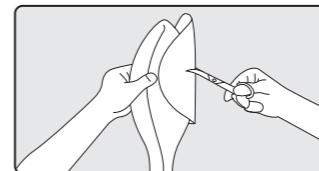


② ゲージの上に装具を装着する予定方向に重ね、ゲージごと取り外します。

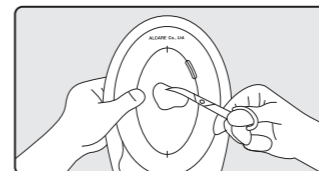


③ 装具とゲージは位置をずらさずそのままにし、装具の剥離紙にボールペン等でゲージ通りに形を写します。

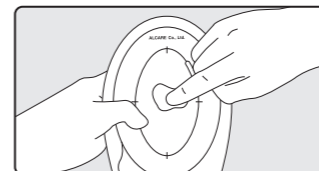
注意：穴開けの際は、定められた有効径の範囲を超えないようにご注意ください。有効径を超えて穴を開けると、袋が破れたり、確実な固定力が得られない場合があります。切ったままの状態は、切り口が滑らかではありません。特にストーマ等へご使用になる場合は、患部を傷つける場合があります。



④ 袋を切らないように十分注意して、皮膚保護剤を半分に折り、穴開けのための切り込みを入れます。



⑤ 切り込み部分から写した形の通りに、ハサミでカットします。患部がスキンベル以下に陥没している場合は、5mm程度大きめにカットします。

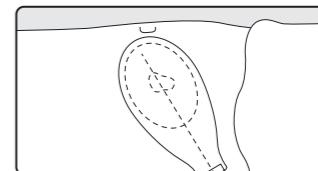


⑥ 切り口を軽く指でこすって、滑らかにします。

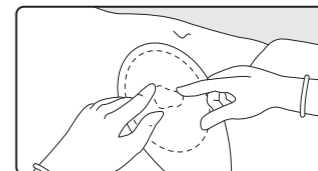
5 装具の装着



① 患部周囲のシワやくぼみは、フロケアソフトウエハーで補正し、平らにします。

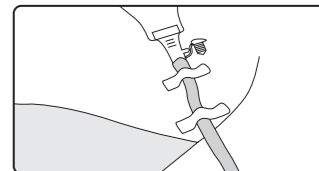


② 排液を流れやすくするため、必ず装具は体に対して少し傾斜させて装着します。



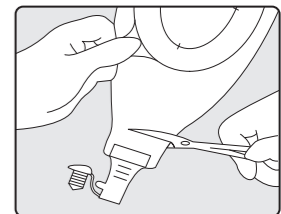
③ 装具を患部周囲の皮膚にしっかりと密着するように貼付します。

注意：袋部がねじれると、排液の流れが悪くなり、排液漏れの原因となります。

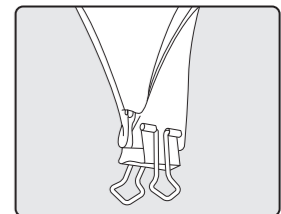


④ 袋部がねじれないように、接続チューブをテープで皮膚に固定します。

ドレナブルパウチとしての使用方法



① 排液が固形化したり、粘稠な場合は、口具部をカットします。



② 切り口を折り曲げ、クリップ等でとめます。